平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名　新日鐵住金株式会社　　上場取引所　東 名 札 福
コード番号　5401　URL　http://www.nssmc.com/
代表者　(役職名) 代表取締役会長 兼 CEO　(氏名) 宗岡 正二
問合せ先責任者 (役職名) 広報センター所長　(氏名) 高橋 望　TEL 03-6867-2130

四半期報告書提出予定日　平成25年11月8日　配当支払開始予定日　平成25年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,674,582	39.4	139,299	―	173,686	788.6	115,577	―
25年3月期第2四半期	1,918,288	△5.4	△2,631	―	19,545	△79.3	△176,659	―

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　129,608百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△186,532百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.73	―
25年3月期第2四半期	△28.09	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,028,947	3,072,751	35.9
25年3月期	7,089,498	2,938,283	33.8

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　2,523,648百万円　25年3月期　2,394,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	1.00	1.00
26年3月期	―	2.00			
26年3月期(予想)			―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成26年3月期の期末配当方針につきましては、平成26年3月期第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定と致します。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)
平成26年3月期通期の連結業績につきましては、売上高5兆4,500億円、経常利益3,400億円、当期純利益2,000億円を予想しております。
※詳細につきましては、4ページ「1. 当第2四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,503,214,022 株	25年3月期	9,503,214,022 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	378,111,323 株	25年3月期	428,564,671 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,081,728,608 株	25年3月期2Q	6,289,638,377 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)
本資料に記載されている将来に関する記述には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

１．当第２四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（１）四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（継続企業の前提に関する注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（セグメント情報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（減価償却費情報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

１．当第２四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

（当第２四半期の世界経済及び日本経済）

世界経済は、欧州景気の低迷が継続したものの、中国・ＡＳＥＡＮの経済成長は鈍化しながらも緩やかな拡大が続いていることに加え、米国経済の回復基調が継続したこと等により、全体として緩やかな成長が続きました。

日本経済は、堅調な公共投資に加え、企業収益好転や生産活動の回復に伴う設備投資の増加及び個人の消費マインド改善を背景に、着実に景気持ち直しの動きが見られました。

（当第２四半期のセグメント別の業績概況）

こうしたなか、当社グループは、各セグメントにおいて、各社がそれぞれの事業環境変化に対応しながら、収益改善に努めてまいりました。各セグメント別の業績の概況は以下のとおりです。

（単位：億円）

	売上高		経常利益	
	当第２四半期	前第２四半期	**当第２四半期**	前第２四半期
製鉄	**23,836**	16,256	**1,582**	54
エンジニアリング	**1,343**	1,394	**36**	78
化学	**1,150**	933	**70**	35
新素材	**192**	220	**6**	4
システムソリューション	**814**	817	**48**	57
合計	**27,336**	19,623	**1,743**	231
調整額	**△590**	△440	**△7**	△35
四半期連結損益計算書計上額	**26,745**	19,182	**1,736**	195

※１　第２四半期：４月１日～９月30日の６ケ月累計
※２　前第２四半期は新日本製鐵㈱の金額

＜製鉄＞

国内鉄鋼需要は、復興需要の継続や経済政策効果の本格化により土木・建築向けが堅調に推移するとともに、設備投資の回復や景況感の好転等に伴い、製造業向けも増加しました。輸出については、回復の動きが見られましたが、国際市況については、中国鉄鋼メーカーの供給圧力が依然強く、鋼材需給の軟化が継続し、引き続き低迷することとなりました。

こうした状況下、当社としては、統合効果を含むコスト改善施策を最大限実行するとともに、鋼材価格につきましては、需要家の皆様に御理解いただけるよう丁寧な対応に努めてまいりました。製鉄セグメントとして、売上高は２兆3,836億円、経常利益は1,582億円となりました。

＜エンジニアリング＞

新日鉄住金エンジニアリング㈱におきましては、大型案件の確実な受注やコスト削減による競争力強化等に努めました。また、海外売上比率の向上や新商品・新事業展開にも積極的に取り組んでおります。エンジニア

リングセグメントとして、売上高は1,343億円、経常利益は36億円となりました。

＜化学＞

新日鉄住金化学㈱におきましては、黒鉛電極用ニードルコークス、エポキシ樹脂及び回路基板材料の販売は低迷しましたが、スチレンモノマーの市況は堅調に推移し、ディスプレイ材料、有機ＥＬ等の分野も好調でした。化学セグメントとして、売上高は1,150億円、経常利益は70億円となりました。

＜新素材＞

新日鉄住金マテリアルズ㈱におきましては、電子材料部材分野は競争激化による価格下落の影響を受けましたが、産業基礎部材分野は需要が堅調に推移し、また、環境・エネルギー分野ではメタル担体の海外事業展開を加速させました。新素材セグメントとして、売上高は192億円、経常利益は６億円となりました。

＜システムソリューション＞

新日鉄住金ソリューションズ㈱におきましては、クラウド事業等のサービスビジネスの強化・拡大を推進するとともに、中国内陸部の拠点設立やタイ法人の体制整備により、顧客企業のグローバル展開をサポートし、アジア地域における事業拡大を図っております。システムソリューションセグメントとして、売上高は814億円、経常利益は48億円となりました。

（当第２四半期の売上・損益）

当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高は２兆 6,745 億円、営業利益は 1,392 億円、経常利益は 1,736 億円となり、投資有価証券売却益や設備休止関連損失を計上したことにより、四半期純利益は1,155億円となりました。

（２）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

（連結業績予想）

欧州では景気底打ちの兆しが見られ、中国・ＡＳＥＡＮ経済は成長鈍化しながらも緩やかな拡大が見込まれます。また、米国経済も金融緩和の縮小等先行きに懸念はあるものの、景気回復基調が継続しており、世界経済は全体として緩やかな成長が続くものと期待されます。日本経済は、円高の修正や消費税増税前の駆け込み需要に加え、設備投資及び個人消費の回復を背景に、引き続き自律的回復に向けた動きが強まっています。

こうしたなか、国内鉄鋼需要は、引き続き下半期にかけて土木・建築向けで需要増加が見込まれるとともに、設備投資の回復や景況感の好転等に伴い、製造業向けも需要の増加が期待されます。輸出については、堅調に推移すると見込まれるものの、中国鉄鋼メーカーの高生産が依然継続しており、鋼材需給やアジア市況の動向等を注視していく必要があります。

こうした状況下、当社としては、中期経営計画の諸施策を引き続き強力に推進し、最大限の経営努力を継続するとともに、適正な販売価格を確保すべく、需要家の皆様に御理解いただけるよう丁寧な対応を図っていく所存です。

平成 25 年度下期の業績につきましては、統合効果を含めたコスト改善の着実な実行やグループ会社の収益改善を図るものの、八幡製鐵所第４高炉の改修影響があることに加え、為替変動による外貨建て資産の評価益の計上がなくなる見込みであり、上期と同程度の連結経常利益 1,700 億円レベル、平成 25 年度通期では、連結経常利益 3,400 億円の収益を確保したいと考えております。

（利益配分に関する基本方針及び当第２四半期末（中間期末）の剰余金配当）

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第２四半期末（中間期末）及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間 20%程度を基準と致します。なお、第２四半期末（中間期末）の剰余金の配当は、中間期業績及び年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。

当第２四半期（中間期末）の剰余金の配当につきましては、上記基本方針に従い、１株につき２円とさせていただくことと致しました。

なお、期末の配当方針につきましては、第３四半期決算発表時に判断し、公表する予定と致します。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,350	84,966
受取手形及び売掛金	579,562	519,477
たな卸資産	1,156,934	1,223,877
その他	286,348	300,892
貸倒引当金	△1,461	△1,561
流動資産合計	2,110,734	2,127,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	734,222	724,945
機械装置及び運搬具（純額）	1,127,239	1,114,637
その他（純額）	824,038	803,131
有形固定資産合計	2,685,500	2,642,714
無形固定資産	95,928	94,154
投資その他の資産		
投資有価証券	1,825,664	1,859,441
その他	375,500	308,887
貸倒引当金	△3,829	△3,903
投資その他の資産合計	2,197,335	2,164,425
固定資産合計	4,978,763	4,901,294
資産合計	7,089,498	7,028,947
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	596,230	590,539
短期借入金	494,903	521,282
コマーシャル・ペーパー	26,000	―
1年内償還予定の社債	135,100	130,000
未払法人税等	20,329	26,959
引当金	2,991	3,854
その他	705,570	591,308
流動負債合計	1,981,124	1,863,944
固定負債		
社債	504,659	445,662
長期借入金	1,346,219	1,306,610
退職給付引当金	192,635	206,915
その他の引当金	15,903	14,966
その他	110,672	118,095
固定負債合計	2,170,090	2,092,250
負債合計	4,151,215	3,956,195

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,524	419,524
資本剰余金	362,321	371,461
利益剰余金	1,430,876	1,538,399
自己株式	△70,490	△62,746
株主資本合計	2,142,233	2,266,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,611	224,389
繰延ヘッジ損益	359	△6,659
土地再評価差額金	2,592	2,592
為替換算調整勘定	80,273	36,686
その他の包括利益累計額合計	251,836	257,009
少数株主持分	544,213	549,103
純資産合計	2,938,283	3,072,751
負債純資産合計	7,089,498	7,028,947

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
【四半期連結損益計算書】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	1,918,288	2,674,582
売上原価	1,755,185	2,312,504
売上総利益	163,102	362,077
販売費及び一般管理費	165,733	222,777
営業利益又は営業損失（△）	△2,631	139,299
営業外収益		
受取利息	1,647	2,237
受取配当金	6,794	8,606
持分法による投資利益	30,430	28,909
その他	17,757	35,698
営業外収益合計	56,631	75,452
営業外費用		
支払利息	9,179	13,513
その他	25,275	27,552
営業外費用合計	34,454	41,065
経常利益	19,545	173,686
特別利益		
投資有価証券売却益	－	31,132
特別利益合計	－	31,132
特別損失		
減損損失	139,262	－
設備休止関連損失	－	14,599
投資有価証券売却損	94,058	－
投資有価証券評価損	24,615	－
特別損失合計	257,936	14,599
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△238,391	190,219
法人税等	△66,631	66,671
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△171,759	123,548
少数株主利益	4,899	7,971
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△176,659	115,577

【四半期連結包括利益計算書】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△171,759	123,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,609	52,766
繰延ヘッジ損益	△2,675	△6,540
為替換算調整勘定	△1,190	△27,722
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,296	△12,443
その他の包括利益合計	△14,772	6,059
四半期包括利益	△186,532	129,608
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190,895	120,750
少数株主に係る四半期包括利益	4,363	8,858

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項なし。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項なし。

（セグメント情報）

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

前第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	製鉄	エンジニアリング	化学	新素材	システムソリューション			
売上高	1,625,658	139,463	93,390	22,088	81,706	1,962,307	△44,018	1,918,288
セグメント利益（経常利益）	5,474	7,890	3,598	446	5,703	23,114	△3,568	19,545

（注）従前は、報告セグメント区分を「製鉄」、「エンジニアリング」、「都市開発」、「化学」、「新素材」及び「システムソリューション」に区分していたが、平成24年10月１日の株式会社新日鉄都市開発と興和不動産株式会社の経営統合に伴い事業セグメント区分を変更し、前第３四半期連結累計期間より「都市開発」を「調整額」に含めて開示している。従って、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の区分方法により作成している。

当第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	製鉄	エンジニアリング	化学	新素材	システムソリューション			
売上高	2,383,604	134,328	115,042	19,256	81,414	2,733,646	△59,063	2,674,582
セグメント利益（経常利益）	158,245	3,649	7,002	659	4,841	174,397	△711	173,686

（減価償却費情報）

第２四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、下記のとおりである。

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
減価償却費	119,075	161,424